

錦田愛子（総合研究大学院大学大学院）「ヨルダン系パレスチナ人におけるディアスポラ・アイデンティティの現状」

小島 宏（国立社会保障・人口問題研究所）「欧州在住ムスリムと移民に対する態度」

宮澤栄司（上智大学アジア文化研究所研究院）「トルコのチェルケス人『ディアスポラ』—強制移住から再定着へ」

なお、来年の第23回年次大会はほぼ同時期に東北大学で開催される予定である。（小島 宏記）

## 日本人口学会第58回大会

日本人口学会（会長：阿藤誠・早稲田大学人間科学学術院教授）の第58回大会は2006年6月3日～4日、慶應義塾大学三田キャンパスにて開催された。津谷典子・大会運営委員長（慶應義塾大学経済学部教授）のご尽力により231名の参加者があり（非会員含む）、2日間にわたって活発な研究発表と討議がおこなわれた。シンポジウム、テーマセッション（1, 2, 3, 4）および9部会17セッションに及ぶ自由論題報告の組織者、報告題目、討論者等は以下の通りである。なおテーマセッション2は、報告・討論とも英語でおこなわれた。

### ○シンポジウム「人口減少下の日本社会」

<組織者>津谷典子（慶應義塾大学）

<座長>阿藤誠（早稲田大学）

1. 青年層を中心として

ジェームズ・レイモ（ウィスコンシン大学）

2. 中高年齢層を中心として

今田幸子（労働政策研究・研修機構）

3. 高齢者層を中心として

原俊彦（札幌市立大学）

<討論者>樋口美雄（慶應義塾大学）

嵯峨座晴夫（早稲田大学）

### ○テーマセッション1「人口とライフコースの計量分析」

<組織者>金子隆一（国立社会保障・人口問題研究所）

<座長>稲葉寿（東京大学）

1. 人口減少と家族の再生産問題

加藤彰彦（明治大学）

2. 若年層の世帯・家族形成の動向

鈴木透（国立社会保障・人口問題研究所）

3. 結婚・就業に関する意識と家族形成：循環モデルによる検証

小林淑恵（和光大学）

4. 結婚願望は結婚を左右するか？

水落正明（お茶の水女子大学）

筒井淳也（立命館大学）

朝井友紀子（慶應義塾大学）

5. 結婚・出産・離家の将来推計：若年フリーター増加の影響

稲垣誠一（農業者年金基金）

<討論者>中澤港（群馬大学）

和田光平（中央大学）

### ○テーマセッション2「東アジアにおける少子化：女性の社会経済的役割の変化の視点から」

<組織者>阿藤誠（早稲田大学）

<座長>河野稠果 (麗澤大学)

1. Korea Women's Life Course and Meanings of Family and Economic Activities  
Keong-Suk Park (Dong-A University)
2. Women's Job Security and Fertility Decisions: A Case Study of Taiwan  
Wen Shan Yang (Institute of Sociology and RCHSS, Academia Sinica)  
An-Chi Tung (Institute of Economics, Academia Sinica)
3. Women's Socio-economic Status and Fertility Decline in Post-war Japan:  
Effects of Education, Employment and Family Structure on Parity Transitions  
Setsuya Fukuda (Meiji University)
4. Comparing Low Fertility in Japan and Western European Countries:  
In a Gender Perspective

Hideko Matsuo (Katholieke Universiteit Leuven)

<討論者>白波瀬佐和子 (東京大学)

永瀬伸子 (お茶の水女子大学)

○テーマセッション3 「歴史人口学からみた結婚・離婚・再婚」

<組織者>黒須里美 (麗澤大学)

<座長>岡田あおい (帝京大学)

ハラルド・フース (上智大学)

1. 明治期における結婚と離婚
2. 「皆婚」社会における結婚終了と再婚：徳川農民再婚のイベントヒストリー分析  
黒須里美 (麗澤大学)
3. 近世在郷町在住女性の離婚・再婚  
高橋美由紀 (麗澤大学)
4. 近世日本における離死別と家の継承  
斎藤修 (一橋大学)  
浜野潔 (関西大学)

<討論者>鬼頭宏 (上智大学)

廣嶋清志 (島根大学)

○テーマセッション4 「21世紀の地域人口統計」

<組織者>大林千一 (帝京大学)

<座長>阿部隆 (日本女子大学)

松村迪雄 (統計センター)

石原秀男 (総務省統計局)

1. 国勢調査の地域統計に与える市町村合併の影響
2. GISによる小地域人口統計利用の課題  
酒井高正 (奈良大学)
3. 日本の障害者向け政策と地域人口統計  
野上裕生 (アジア経済研究所)
4. 新しい地域人口推計手法の県推計への適用：神奈川県企画部との共同研究

大江守之 (慶應義塾大学)

<討論者>石川義孝 (京都大学)

伊藤薫 (岐阜聖徳学園大学)

○自由論題報告

【第1部会】

<座長>石南國 (城西大学)

1. 中国の高齢化と家族形態の変化について 張雋（東京農工大学）
2. 中国農村家庭における人口流出の影響 馮文猛（東京農工大学）
3. 中国における人口政策・動態史をめぐって 梁穎（東京農工大学）  
 <座長>岡崎陽一（元日本大学）
4. 出生率回復の条件について：欧米の経験から 河野穉果（麗澤大学）
5. マルクスの人口論とマルサス批判 京極高宣（国立社会保障・人口問題研究所）

### 【第2部会】

1. 離婚と労働市場の時系列分析 <座長>江見康一（一橋大学）  
加藤久和（明治大学）
2. 若年世代の結婚意欲：就業環境、就業意欲等の影響 藤野敦子（京都産業大学）
3. 子どもを持たない選択：その経済理論 松下敬一郎（関西大学）  
 <座長>兼清弘之（明治大学）
4. 国民世代間移転勘定の目的と重要性 松倉力也（日本大学）  
M a l i k i（日本大学）
5. 日本における2つの demographic dividends 根本和郎（総務省統計研修所）  
小川直宏（日本大学）
6. 人口構造変化による家計資産への影響と簡易推計 赤坂克也（総務省統計研修所）  
伊原一（統計数理研究所）

### 【第3部会】

1. 人口移動が出生に及ぼす影響について：「第5回人口移動調査」から <座長>井上孝（青山学院大学）  
小池司朗（国立社会保障・人口問題研究所）
2. Child-Woman Ratio を応用した地域出生力指標の検討 山内昌和（国立社会保障・人口問題研究所）
3. わが国出生行動の地域格差：パターンと要因 菅桂太（国立社会保障・人口問題研究所）  
 <座長>早乙女智子（ふれあい横浜ホスピタル）
4. 有配偶女性の出生力と無子割合 別府志海（国立社会保障・人口問題研究所）
5. 近年の日本における人工妊娠中絶の動向 佐藤龍三郎（国立社会保障・人口問題研究所）  
白石紀子（国立社会保障・人口問題研究所）  
坂東里江子（国立社会保障・人口問題研究所）
6. シングル・マザーの最近の動向 西文彦（総務省統計研修所）

### 【第4部会】

1. 平成17年国勢調査の実施状況と今後の課題 <座長>嵯峨座晴夫（早稲田大学）  
奥野重徳（総務省統計局）
2. 21世紀における人口センサスの世界的潮流と日本 藤田峯三（元総務省統計局）
3. 人口地域分布の不均等度に関する指標について 大林千一（帝京大学）  
 <座長>大淵寛（中央大学）
4. 小地域推計と労働力調査への適用 山口幸三（一橋大学）  
久保奨（総務省統計局）

5. 明治前期の地域人口の特徴 高橋眞一（神戸大学）  
 6. 人口動態統計指標の評価 石川晃（国立社会保障・人口問題研究所）

【第5部会】

- <座長>中澤港（群馬大学）
1. 日本人人口の将来推計 渡邊吉利（エイジング総合研究センター）  
 鬼頭宏（上智大学）  
 加藤久和（明治大学）  
 君島菜菜（大正大学）
2. わが国の平均寿命の動向と死亡率推計モデルの検討 石井太（国立社会保障・人口問題研究所）
3. 人口動態におけるテンポ効果：2次元コーホート生命表関数による解明  
 廣嶋清志（島根大学）
- <座長>加藤久和（明治大学）
4. ライフサイクル事象のサバイバルモデル 稲葉寿（東京大学）
5. 北海道における少子化のシミュレーション・モデル：その1  
 原俊彦（札幌市立大学）
6. 出生率モデルシミュレーションの際の推定手法の検証 増田幹人（東海大学）

【第6部会】

- <座長>若林敬子（東京農工大学）
1. ロシア極東連邦管区における人口変動：その要因と特徴 トゥルヒーン・ミハイル（早稲田大学）
2. 少子高齢社会における高齢者雇用の推進 笠原弘義（麗澤大学）
- <座長>濱英彦（元成城大学）
3. 岐阜県の人口移動 伊藤薫（岐阜聖徳学園大学）
4. 市町村合併と都道府県内人口移動数の変化 清水昌人（国立社会保障・人口問題研究所）
5. 戦後における東京圏人口の変動構造 吉岡茂（立正大学）

【第7部会】

- <座長>早瀬保子（元アジア経済研究所）
1. マラウイにおける HIV/AIDS の蔓延と家族の変容：親の死亡が子供の人的資本に与える影響  
 上山美香（一橋大学）
2. ネパールにおける乳児死亡率の現状：ネパール人口センサス、サンプルデータベースの結果から  
 ナビン・アリヤル（一橋大学）
3. 秋田県の死亡傾向：平均余命と死亡年齢の散布度による考察  
 岡部恭子（国際教養大学）
- <座長>高橋重郷（国立社会保障・人口問題研究所）
4. 病気の分布の場としての人口 池田一夫（東京都健康安全研究センター）  
 灘岡陽子（東京都健康安全研究センター）  
 倉科周介（老人保健施設ケアセンター阿見）
5. 寺院「過去帳」に記録された子供の戒名：「過去帳」分析システムを用いた史料吟味  
 川口洋（帝塚山大学）

## 【第8部会】

- <座長>森岡仁(駒澤大学)  
安藏伸治(明治大学)  
鎌田健司(明治大学)  
中島満大(明治大学)
- <座長>渡辺秀樹(慶應義塾大学)
1. デルファイ調査の概要
  2. デルファイ調査にみる少子化の見通しに対する専門分野別の分析
  3. 若い夫婦における出生意欲格差の要因分析：  
少子化に関する6自治体調査の比較を通して
  4. 夫婦間の役割分担と出生力
  5. 育児不安が出産意欲に与える効果
- 新谷由里子(武蔵野大学)  
吉田千鶴(関東学院大学)  
松田茂樹(第一生命経済研究所)

## 【第9部会】

- <座長>吉田良生(朝日大学)
1. 台湾の「外国人花嫁」の家族形成行動：2000年国勢調査個票との比較分析①  
小島宏(国立社会保障・人口問題研究所)
  2. 静岡県A市の日系ブラジル人児童の就学状況：2000年国勢調査個票との比較分析②  
千年よしみ(国立社会保障・人口問題研究所)
  3. 日系ブラジル人労働者の意識と行動  
鎌田修(中央大学)
  4. 05年仏国移民暴動から学ぶべき教訓について  
河野道和(姫路市役所)

なお初日の会員総会において学会賞の授賞式がおこなわれ、早瀬保子会員(『アジアの人口：グローバル化の波の中で』(独)日本貿易振興機構アジア経済研究所、2004年3月発行)に普及奨励賞、鈴木允会員(「明治・大正期の東海三県における市郡別人口動態と都市化：戸口調査人口統計の分析から」『人文地理』第56巻第5号、2004年10月発行)に優秀論文賞が授与された。

(佐藤龍三郎記)

## 第39回国連人口開発会議

「国際人口移動」をテーマとする第39回国連人口開発会議(UNCPD)が4月3日(月)から7日(金)の会期でニューヨーク市の国連本部会議場で開催された。今回の会議は、第58・59回国連総会(2003年12月・2004年12月)での決定を受けて本年9月に開催される第61回国連総会のテーマが「国際人口移動」となり、同時に国際人口移動に関する高官会議(High-Level Dialogue/HLD)が開催されることになったことに呼応したもので、それに向けて昨年から今年にかけて「国際人口移動」をテーマとして開催されつつある国連関係の会議の一環という位置づけももつ。実際、2005年から2006年にかけて国連社会開発委員会、国連女性の地位委員会等の専門委員会やUNECE、UNESCAP等の各世界地域の国連経済社会委員会で「国際人口移動」をテーマとする会議が開催されつつある。また、2005年10月にはアナン事務総長の選出による国際人口移動に関するグローバル委員会の報告書も提出された。さらに、国連関係機関ではないEUやOECDでも「国際人口移動」や「国際人口移動統計」に関する会議が多数、開催されてきた。

UNCPDの参加国は40数カ国であったが、中国代表は1990年代初頭に国立公衆衛生院への留学経験がある王国強国家人口和計画生育委員会副主任であった。また、EU議長国がオーストリアであるこ